



# ナマズの知恵袋

平成29年(2017年)12月1日  
編集・発行 滋賀県立図書館

## 西軍 石田三成

西軍の主将。  
豊臣政権下では五奉行の一人。  
優れた計算能力や交渉力を駆使し、  
兵糧や検地などの管理面において豊  
臣家拡大に尽力した秀吉の重臣。



- 『石田三成のすべて』 安藤英男編  
新人物往来社 1985年 S-2861-85  
五奉行の一人としてどのように活躍したか、淀  
殿との関係、キリスト教とどのように関わって  
いたのか、など三成について多角的に考察され  
ています。石田三成家臣団事典や西軍武将事典、  
三成遺跡総覧等が掲載されています。
- 『石田三成からの手紙』 中井俊一郎著  
サンライズ出版 2012年 S-2861-12  
賤ヶ岳合戦時に称名寺へあてた礼状、意外にも  
真田信幸への友情を思わせる書状、三成が人生  
の重要な場面で書き表した手紙を紹介します。
- 『石田三成伝』 中野等著 吉川弘文館  
2017年 S-2861-17
- 『石田三成と西軍の関ヶ原合戦』 長浜城歴  
史博物館編刊 2016年 S-3902-16
- 『石田三成 「知の参謀」の実像』 小和田  
哲男著 PHP 研究所 1997年 S-2861-  
97

## 関ヶ原 VS

### 西か東か

今年は司馬遼太郎原作『関ヶ原』が映画公開されました。そこで、関ヶ原の戦いに関わった武将たちの中から、とりわけ近江に縁が深い武将たちを紹介いたします。



## 東軍 井伊直政

東軍の中心的存在で、初代彦根藩主。  
小牧・長久手の戦いや関ヶ原の戦いで  
武功をあげ、のちに「徳川四天王」と  
称されるほど、家康の天下統一事業に  
重要な役割を果たします。

- 『井伊軍志 井伊直政と赤甲軍団』 中村達夫  
著 彦根藩甲冑史料研究所 1989年 S-  
3951-89  
直政から直孝までの研究資料。井伊家重臣略系  
図あり。カラー口絵、グラビアなど写真も豊富  
で本文中の収録資料の目録もついています。
- 『井伊直政 家康筆頭家臣への軌跡』 野田浩  
子著 戎光祥出版 2017年 S-2851-17  
直政にまつわる数々の逸話はどこまで本当なの  
か、典拠史料に基づいて検証した本。参考文献  
が豊富です。
- 『戦国!井伊直虎から直政へ 二〇一七年  
NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」特別展』  
NHK編 2017年 SB-7051-17  
井伊家伝来の甲冑、刀や武将の肖像、書状など  
を多数紹介。
- 『徳川四天王』 彦根城博物館編  
彦根市教育委員会 1995年  
SB-2851-95



### 二人が交差する佐和山城

戦国時代には、戦略上の要衝である佐和山城を支配下に置こうと、周辺の戦国大名らが衝突を繰り返しました。秀吉が天下統一の過程で佐和山城と周辺の直轄地を管理する代官に任命したのが三成です。しかし、関ヶ原の戦いで三成が家康に敗れると井伊直政が佐和山城主になります。その後、井伊家は新たに彦根城を築城し、佐和山城はその役割を終えました。佐和山城を知ることによって当時の様相が思い浮かびます。

- 『近江佐和山城・彦根城』 城郭談話会編刊 2007年 S-5251-07
- 『激動の佐和山城』 彦根城博物館編刊 2010年 SB-2451-10
- 『近畿の名城を歩く 滋賀・京都・奈良編』 仁木宏編 吉川弘文館 2015年 S-5208-15
- 『〈図解〉近畿の城郭 2』 城郭談話会編 戎光祥出版 2015年 S-5208-15

## 合戦で目立たねば！関ヶ原で何を着る？

鉄砲の登場や戦闘形式の変化により、武将たちが身に着ける甲冑の様式も変わってきました。これらの甲冑は「当世具足（とうせいぐそく）」と呼ばれ、実用性はもとより、自らの存在をアピールするため、装飾も重視されました。その個性的な装いとは・・・

●『赤備え 普及版 武田と井伊と真田と』 井伊達夫著 宮帯出版社 2011年 S-2551-11

鎧兜など全てを赤で統一した「赤備え」。武田、真田、井伊の赤備えから、井伊の軍法なども解説されています。

●『勇将の装い 戦国の美意識 甲冑・陣羽織』 長崎巖著 ピエ・ブックス 2008年 G-7567-ナ

信長・秀吉・家康など、戦国時代に活躍した武将の装いが写真で楽しめます。

●『変わり兜 戦国の奇想天外 特別展』 神奈川県立歴史博物館編刊 2002年 4B-7567-カ

大形の立物などで装飾された武将たちの「変わり兜」を集めた展覧会の図録です。

探している甲冑が、どの本にのっているか知りたいとき・・・

●『美術作品レファレンス事典 刀剣・甲冑・武家美術』 日外アソシエーツ編刊 2016年 R-7031-二

美術全集に掲載されている、刀剣・甲冑など武家美術作品の図版索引。「刀剣」「甲冑」「弓具」「馬具」等に分類されており、作品名索引、作者名索引が付いています。



## 甲冑についてもっと知りたい！

イラストでやさしく。●『日本甲冑図鑑』 三浦一郎著 新紀元社 2010年 G-7567-ミ ●『日本甲冑史 下巻』 中西立太著 大日本絵画 2009年 G-7567-ナ 英文が併記されているので、外国の方にもおすすめ。もっと詳しく調べたい人は・・・

甲冑の歴史や種類、各部の説明などが写真と共に詳細に解説されています。

●『日本甲冑の基礎知識 第2版』 山岸素夫著 雄山閣出版 1997年 G-7567-ヤ

●『図解日本甲冑事典』 笹間良彦著 雄山閣出版 1988年 R-7567-サ

●『図録日本の甲冑武具事典』 笹間良彦著 柏書房 1981年 R-7567-サ



## 合戦を調べたい！

●『戦国武将・合戦事典』 峰岸純夫編 吉川弘文館 2005年 R-2104-ミ

最大の日本史辞典である『国史大辞典』から、戦国時代・戦国武将に関する項目を抽出し、戦国武将編、武家系譜編、合戦編にまとめた便利な辞典。

## 合戦までの経緯を時系列で確認したい！

●『日本中世史年表 誰でも読める』 R-2104-ヨ

●『日本近世史年表 誰でも読める』 R-2105-ヨ 吉川弘文館 2007年 『日本史総合年表』を「中世史」(1156年～1599年)「近世史」(1600年～1867年)に分けた年表。全項目にふりがなを付してあり、読み方も調べられます。

## 地域ごとに調べたい！

●『戦国合戦大事典 第5巻 岐阜県・滋賀県・福井県』 新人物往来社 1988年 S-3900-88

戦国時代に起こった合戦を地域別に記述した辞典。関ヶ原の合戦については、岐阜県・滋賀県それぞれに、場所ごとに項目を立てて記述しています。

## ビジュアルに知りたい関ヶ原

●『復刻関ヶ原合戦図絵巻 上巻・下巻』 郷土出版社 2000年 5B-3902-1・2

岐阜市歴史博物館所蔵の関ヶ原合戦図絵巻の複製版。合戦の様子がカラーで詳細に描かれています。

●『戦国合戦絵屏風集成 第3巻 関ヶ原合戦図』 中央公論社 1980年 2B-7210-3 代表的な関ヶ原合戦図3種を収載。くわしい解説と年表あり。

●『図説戦国合戦総覧』 新人物往来社 1977年 2-2104-シ 戦国時代の合戦の布陣や合戦場の地形を図版と写真で解説。



## 史料で見る関ヶ原

関ヶ原合戦の開戦の経緯と東西両軍の攻防が詳しく書かれた史料『石田軍記』（作者未詳）や、三成の居城だった佐和山城跡も描かれている『近江国絵図』[天保八年]は、滋賀県立図書館ホームページ内の「近江デジタル歴史街道」で閲覧することができます。ぜひご覧になってみてください。